

市立博物館 夏季特別展覧会

なるほど！紙づくりの世界

手漉きと機械製紙

多彩な資料で紹介

八代の「紙づくり」の歴史と製品の魅力

江戸時代初期、宮地で始まった和紙づくり。明治時代、坂本で始まった機械製紙。それぞれの歴史や作り方、製品の展示をとおして奥深い「紙」の世界を紹介します。知っているようで知らない「紙」について学んでみませんか。和紙に触れるコーナーもあり、大人も子どもも楽しめる展覧会です。

7/12_金 - 8/25_日

開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日 7/16(火)・7/22(月)・7/29(月)
8/ 5(月)・8/13(火)・8/19(月)

観覧料 一般400円(320円)・高大生300円(240円)
中学生以下無料
※()内は20人以上の団体料金
※障がい者手帳を提示の人は無料

問合せ 博物館 ☎ 34 - 5555

特別講演会「江戸時代から現在までの八代の製紙業について」

とき 7月28日(日) 午後2時～3時30分

ところ 博物館 費用 無料

講師 本館学芸員 早瀬輝美

定員 80人（事前申込不要、先着順）

「工場探検！～日本製紙株式会社八代工場に行ってみよう～」

とき 8月7日(水) 午前10時～(約2時間)

ところ 日本製紙八代工場（現地集合）

対象 市内小学4年生～6年生

費用 300円（保険料）

定員 20人

申込み 博物館に電話で申し込み（7月8日(月)から先着順）

※博物館友の会共催事業

「松井文庫Ⅱ 千代紙の世界」

とき 7月9日(火)～8月25日(日)

第2常設展示室では、松井文庫所蔵の千代紙を紹介します。
さまざまなデザインの色鮮やかな千代紙の世界をお楽しみ
ください。